

学校行事参加型+講演会型(中学校)

学校名等	加茂郡東白川村立東白川中学校
実施日時	令和6年12月13日(金) 第5校時
会場	東白川中学校
参加人数	1年生保護者(8名)
学習課題(分野)	情報モラル(自制心・善悪の判断・社会のルール)
運営者の願い	情報機器を正しく使いこなせるようデジタルの特性や、それを活用して起こることが予想される問題点を学ぶと共に、今ある「ルール」が自分(わが子・家族)にとって適切かどうか見直す機会にしたい。

学習の内容

<取組の概要>

東白川中は、1年生の保護者が学級生となり、積極的に活動に参加しています。「情報モラル」に関わる問題が社会的に深刻化しているという現状を踏まえ、この内容の講座を毎年家庭教育学級の中に位置付けています。生徒数は減少していますが、学校だけでなく教育委員会や地域の方の支援が手厚く、充実した学級を継続しています。

<取組の様子>

【前半】 講話 講師：NTTコミュニケーションズ株式会社 東海支社より

- 「情報」は、私達の生活に深く関わっています。使わないという選択肢は、ありません。「特徴を知った上で、正しく使ってほしい」
- OSNSのトラブル・・・炎上
- 寿司チェーン店や大学サークル活動店の動画・・・
- デジタルの特性その1
一度投稿したものは、すぐに拡散し、その情報を完全に消すことはできない。(デジタルタトゥー)
- デジタルの特性その2
見えないところで情報が拡散し、浸透し、トラブルに気づきにくい。
- スマホを使い過ぎてしまう要因と対処・・・等



【後半】 「家族ルールの振り返り及び修正」

以下の4点を親子で話題にしました。

- ①現在、家族ルールはありますか？
「はい」・「いいえ」
- ②「はい」と答えた家族は、家族ルールの内容を書きましょう。
- ③「はい」と答えた家族は、そのおよその達成度(%)を書きましょう。
- ④今後の家族ルールを親子で具体的に決めましょう。



自分にとって今あるルールが正しいかどうか考える機会になるといいですね。この家庭教育学級を、親子で話し合う機会にしてほしいと思います。親子で、わが家の一番のルールを決めましょう！

<参加者の感想>

- ・インターネット等の利便性とリスク、具体的なトラブル防止策を教えていただいた。まだ、スマホを持たせていないので、持った時に、もう一度学びたい内容でした。(男子生徒・母)
- ・誰でも簡単にネットにアクセスしたり発信したりできることで、個人情報(自分だけでなく家族や友人・知人)が不用意に拡散されたり、それが半永久的に残ることになったりする危険性があることを「肖像権の侵害」「デジタルタトゥー」等の具体的な言葉と共に教えられました。利便さや娯楽性を享受する時には、相応の警戒心や責任感も忘れないようにしたいものです。(男子生徒・母)
- ・SNSに対して気軽に使用しているけれど危険がたくさん潜んでいる事を、親子で学ぶことが出来てよかったです。自分で判断できるようになるために情報モラルの授業は大切だと思いました。(女子生徒・母)



現代社会の大きな問題となっている情報モラルについて、何年も継続し、親子で学び続けている姿勢がとても素晴らしく、是非、参考にしたいものです。

話を聴くことに加え、その後、親子で家族ルールの見直しをするという点が効果的です。



親子で講座に参加することで、帰宅後、共通の土俵で会話をすることができそうです。



家庭教育学級を学校担当者(教頭先生)や教育委員会が積極的に支援する体制が、学級の充実と継続に深く結びついていると思われます。

本時の講座では参加できなかった保護者に代わり、教頭先生や担任がルールの見直しを助言し、教育主幹がまとめの話をして学級を締めくくっておられました。

見直したわが家の家族ルール

- 遅くとも夜の9時には、ネットの使用をやめること。
- 勝手に課金等はしないこと。
- 睡眠時間や学習時間を削るようなネット利用はしないこと。(男子)
- *しなければいけない事が終わるまでは、スマホやタブレットを使用しない。
- *個人情報をネットに書き込まない。
- *面識のない人と連絡しない、連絡先を教えない。
- *ネットの情報が全て正しいと思わない。(女子)